

平成16年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者  
(五十音順)

〔個人〕

かつの ちえこ  
勝野 千枝子 (岐阜県可児市)  
ふじた しょうへい  
藤田 尚平 (福島県東白川郡矢祭町)  
ますもと よしお  
増元 義雄 (広島県高田郡美土里町)  
みなみだ むねとし  
南田 宗俊 (石川県金沢市)

〔団体〕

あしおちょうりつほんざんしょうがっこうみどり しょうねんだん  
足尾町立本山小学校緑の少年団 (栃木県上都賀郡足尾町)  
うのけまち とも かい えんげい  
宇ノ気町ボランティア友の会 園芸さわやかグループ (石川県かほく市)  
おおしらかわせいさんしんりんくみあい  
大白川生産森林組合 (新潟県北魚沼郡入広瀬村)  
おおたにろうじん  
大谷老人クラブ (兵庫県美方郡美方町)  
おおたわらしょうわかい  
大田原昭和会 (岡山県和気郡和気町)  
くるまがわく  
車川区 (三重県多気郡勢和村)  
こしじちょうりつつかやまちゅうがっこうせいとかい ゆうしんかい  
越路町立塚山中学校生徒会 (勇進会) (新潟県三島郡越路町)  
ざいだんほうじん ふくおかけんすいげんのもりききん  
財団法人福岡県水源の森基金 (福岡県福岡市)  
さんきょうかがくかぶしがいがいしゃ ひろのこうじょう  
三協化学株式会社 広野工場 (福島県双葉郡広野町)  
しらかしみなみ  
白樫南スクエアガーデンクラブ (奈良県橿原市)  
はな かい  
なりた花の会 (千葉県成田市)  
かせいこうぎょうかぶしがいがいしゃ ふくろいこうじょう  
ポーラ化成工業株式会社 袋井工場 (静岡県袋井市)  
よねざわしみどり しょうねんだん  
米沢市緑の少年団 (山形県米沢市)  
らんこしちょうはな かい  
蘭越町花いっぱいのかい (北海道磯谷郡蘭越町)

〔学校〕

しゅうなんしりつしゅうようしょうがっこう  
周南市立周陽小学校 (山口県周南市)  
なごやしりつたかくらしょうがっこう  
名古屋市立高蔵小学校 (愛知県名古屋市)  
はなやまそんりつはなやましょうがっこう  
花山村立花山小学校 (宮城県栗原郡花山村)

〔地方公共団体〕

だざいふし  
太宰府市 (福岡県太宰府市)  
たじままち しょうねんだん  
田島町 (福島県南会津郡田島町)  
まつやままち  
松山町 (宮城県志田郡松山町)

[個人]

氏名	<p>かつの ちえこ 勝野 千枝子</p>
住所	<p>岐阜県可児市</p>
功績の概要	<p>同氏は、「人生生活その時々<sup>の</sup>思いを表現できること」や「庭を介してコミュニケーションのできること」をコンセプトとして、平成10年に自宅の庭をつくり変えた。つくり変えてから現在に至るまで、宿根草や樹木、グランドカバープランツなどの多種多様な植物を組み合わせた花かざり・庭づくりに取り組んでいる。そのデザインや栽培技術が大変高く、まさに新しい「日本の庭」の構成様式を見ることができる。</p> <p>平成11年に全国花のまちづくりコンクールで農林水産大臣賞を、岐阜県主催の「花の都ぎふ」花かざりコンクールで金賞を受賞した後も、継続してこの庭を、花を介した人の交流の場として、まちづくりや地域活性化の輪の広がりに努力している。</p> <p>花を愛する県内外の愛好家との交流を目的に、平成14年に立ち上げられた「G I F Uオープンガーデン協会」の取組に初年度から参加し、一般の方に広く庭を公開している。県内外から多くの来訪者との出会いにより、花飾りや花づくりの技術等情報交換を行い、お互いの交流を深め、花の輪が広がっている。</p>

[個人]

氏名	<p>ふじた しょうへい 藤田 尚平</p>
住所	<p>福島県東白川郡矢祭町</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和37年高校卒業後、農林業に従事し、26歳からは父親に代わって本格的に林業経営に携わり、これまでに39haに及ぶ森林造成やその保育活動を行い、県土の緑化推進に大きく貢献した。「自分の山は自分で守る」という方針のもと、夫婦二人の自家労力で、コスト削減に創意工夫を重ねながら林業経営を実践する姿は他の森林所有者の模範である。</p> <p>昭和57年に福島県青年林業士認定、平成12年に福島県林業普及指導協力員登録、平成13年に福島県指導林家認定等を受け、林業後継者育成、緑の少年団活動等に協力している。また、平成14年度に設置された福島県県南地方林業普及指導推進会議委員として本県林業普及指導事業の円滑な推進に協力している。</p> <p>このほか、福島県森林保全巡視員として地域森林の保全活動に努めている。また、森林施業計画高城施業団地代表として地域の森林整備の推進、中山間地域等直接支払交付金内川集落代表として農業の活性化、林道八神線愛護組合の代表として林道沿線の環境整備等に地域住民を牽引している。</p>

[個人]

氏名	<p>ますもと よしお 増元 義雄</p>
住所	<p>広島県高田郡美土里町</p>
功績の概要	<p>同氏は昭和55年から自宅の裏山約1haを広島県高田郡美土里町立北小学校の学校林として提供し、主に5、6年生を対象に自ら下刈、間伐などの山の手入れや木造施設等の製作、自然観察などの指導を行ってきた。</p> <p>この活動は20年にも及び、同氏はこの学校林を教材とした自然体験学習を通して、子供たちに林業について教えるだけでなく、自然の大切さについても触れ、緑化の必要性、さらには人と自然の関わり方などさまざまなことを伝えようとしている。</p> <p>平成7年からは、新たに0.5haの林地を「子どもの国づくり」のために提供し、同氏の指導のもと、子供たちが自分たちで間伐した材を使った山小屋、ブランコ、展望台、吊り橋などを製作し、林業体験から始まった学校林活動の場は、子供たちがやってみたいことを実現させる形でさらに広がりを見せている。平成15年からは、「こどもの国」は地域に開放され、子供たちの遊び場となっている。</p> <p>さらに、地域のシルバー人材を育成するため枝打ちなどの作業を指導し、地域林業の振興、活性化に大きく貢献している。</p>

[個人]

氏名	<p>みなみだ むねとし 南田 宗俊</p>
住所	石川県金沢市
功績の概要	<p>同氏は、昭和26年に自宅前の犀星路に桜の木が植栽されたのをきっかけに、河川的美観向上のため、花壇をつくり花苗の植栽・管理及び美化清掃を行い始めた。</p> <p>昭和36年には地域ぐるみで積極的に緑化・美化活動を行うため、「犀星路を美しくする会」を結成し、現在に至るまで会長を務め、自ら中心となって地域の美化や緑化活動を実践している。</p> <p>河川敷の緑化活動においては、川との景観にマッチするよう、広い河川敷にプランターや花壇をつくり、四季を感じさせる花々を植栽・管理し、訪れる方々の目を楽しませている。</p> <p>花苗のほとんどは、自らが種などから育て、花壇の肥料は、川沿いの落ちた花や葉を掃き集めて作った堆肥と米糠を使用するなど、環境にもやさしい工夫を施し、きれいな花々を咲かせ育てている。</p> <p>また、花苗の植替え時には、地域の子供たちと共に花壇作業を行い、花や木が持つすばらしさや大切さを伝え、地域の人々から「南田のおじいちゃん」と呼ばれ、親しまれている。</p> <p>さらに、地域住民誰もが花や木を育てられるよう、自分の経験を踏まえた花苗の植栽・管理方法の指導を行っている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>あしおちょうりつほんざんしょうがっこう みどり しょうねんだん 足尾町立本山小学校 緑の少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>栃木県上都賀郡足尾町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校長 諏訪 文敏</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、昭和60年に全校児童で結成以来、教職員を始めP T Aや地域住民の協力を受けながら、積極的に活動を展開してきた。</p> <p>足尾銅山が昭和48年に閉山した頃は、学校のほとんどの樹木が枯死したが、学校環境緑化活動を推進した結果、校内を含め学校周辺では、緑あふれる環境となっている。</p> <p>具体的には縦割り班（各学年からの団員で構成）活動で、花壇整備、樹木の手入れ、落ち葉さらい、腐葉土づくり等、P T Aの奉仕活動と連携して学校の環境緑化を更に推進している。</p> <p>また、銅山の煙害等による荒廃した山々が身近に位置していることから、森林再生への活動に積極的に参加し地域活動と連携している。</p> <p>平成8年度からは横浜市の小学校と緑化に関する学習や植樹活動等を通じて交流している。</p> <p>そのほかにも、隣接する学校林「ふるさとの森」の維持管理や、学校で育てた草花を地域に設置することや、高齢者や障害者との緑を通じた交流活動など、地域の緑化活動にも大きく貢献している。</p>



[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおしらかわせいさんしんりんくみあい 大白川生産森林組合</p>
<p>所 在 地</p>	<p>新潟県北魚沼郡入広瀬村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>組合長 浅井 萬二</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同組合は昭和47年に入会林野近代化事業に基づき設立され、現在、経営面積は1,565ha、組合員数は118名である。</p> <p>本組合は昭和48年から、形質に優れ、また、景観的にも美しいブナ林に誘導することを目的に所有ブナ林の改良事業を開始した。以降30年あまり所有森林の整備に努め、現在までに延べ197haの改良・保育をしてきた。また、キャンプ場の整備やブナ林を分収契約する等、多様な森林の活用を図っている。</p> <p>また、地域で行われる体験イベントにフィールドを提供するとともに組合員自らが参画し、イベントの定着化と交流人口の増加に貢献している。</p> <p>さらに、全国「森林の市」など各種イベントに積極的に参加することにより都市住民との交流、特産品の販売、地域のPRに努めてきた。</p> <p>また、地元小学校児童、あるいは地域外の高校生の体験学習への協力や研究機関への研究フィールドの提供など幅広い貢献をしている。</p> <p>このように同組合は森林経営と併せ、地域振興、都市住民との交流など幅広い取組を継続している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおたにろうじん 大谷老人クラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>兵庫県美方郡美方町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 井上 文洋</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同クラブでは昭和40年の設立当初から地域奉仕活動の一環として、道路緑化ボランティアに取り組んでいる。</p> <p>活動の中心になっているのは、町道八田線の延長約1,500mの区間であり、プランター約40個を設置し、道路脇の花壇や路肩にもハウセンカ、コスモス、サクラソウ、カンナ、スイセン、チューリップ、パンジーなどの花々を年2回程度植栽するとともに、サツキなどの植樹帯の手入れも行っている。</p> <p>こうした活動とともに、夏季の水やりなどのきめ細かな維持管理を精力的に行っており、美しく利用しやすい道路が保たれ、自動車運転者や歩行者に心和む環境を提供している。</p> <p>また、同クラブの活動する道路は「温泉保養館おじろん」、「ふれあい歴史公園」、「吉滝キャンプ場」などの町の中心観光施設に通じる道路となっていることから、町内外から訪れる観光客等への歓迎に努める意味でも重要な活動の一つとなっている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおたわらしょうわかい 大田原昭和会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岡山県和気郡和気町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 国近 義博</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は昭和51年に設立され、地域ボランティアや地域交流事業など多彩な活動を実践している団体であるが、その活動拠点が吉井川水系金剛川と隣接していることから、発足当時から河川敷の美化や緑化等の河川環境の保全活動に精力的に取り組んでいる。</p> <p>また、同会は国土交通省の「金剛川整備事業」にも地元リーダーとして企画段階から参画、工事完成まで積極的に作業協力し、同事業の自然と調和した多自然型の川づくりに尽力した。この努力により、金剛川は現在も町内外を問わず多くの人々に「緑と清流の水辺」として親水空間を提供するとともに、かつて流域に生息していたホタルやカワセミなどが再び見られるようになるなど、清流のイメージが復活した河川となっている。</p> <p>平成13年からは、金剛川河川敷の親水広場の「水辺の楽校」において、家族連れなどが川にちなんだ様々な遊びを楽しむ「こどもの夏」を主催し、さらに通学路の路肩への植樹を行うなど、自然体験活動を通じた河川愛護や緑化思想の普及啓発に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>くるまがわく 車 川 区</p>
<p>所 在 地</p>	<p>三重県多気郡勢和村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>区長 水野 益夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同地区では、古くから「自分の住むところは自分達できれいにしよう」と地区全体で地区内の道路や河川の除草、清掃を行っている。</p> <p>平成5年頃からは、道路沿いの転作田2か所、915㎡を利用してチューリップやコスモス、水仙など四季折々の花を植えて人々の心を和ませるとともに、村の花「ささゆり」の保護、増殖にも取り組み、道路沿いの山に植え、また、県道や川沿いの延べ約1 kmにわたりアジサイ、水仙等を、さらには文後トンネルまでの村道約1 kmに水仙、コスモス等を植栽している。こうした活動により花の咲く頃はまるで花道のようになりドライバーや歩行者など多くの人々の目を楽しませている。</p> <p>平成11年度には県の「ふれあいの道里親事業」の認定を受け路法面等にあじさいや水仙を植栽し、道路緑化に努めるとともに、平成15年には、道路沿いを全て美しくしようとガードレールの清掃を行い、色とりどりの草花と真っ白なガードレールによる良好な道路景観の保全に努めるなど、積極的な活動を展開している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>こしじちょうりつつかやまちゅうがっこうせいとかい ゆうしんかい 越路町立塚山中学校生徒会（勇進会）</p>
<p>所 在 地</p>	<p>新潟県三島郡越路町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>生徒会長（勇進会長） 鳥島 達朗</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同生徒会は、昭和28年に設立されて以来、学校・地域の緑化活動に努め、昭和47年以降は、新設された学校花壇を学年単位で分担し、設計、土づくりと球根・苗の植付け、施肥・灌水・除草等の日常の花壇管理に全校で取り組んでいる。</p> <p>豪雪に覆われる冬場にも、全校でのプランター及び鉢による花の育成を行い、校舎内を花で飾る校地内緑化に努めている。</p> <p>また、全校で育成した花のプランターを7月から9月にかけて学校前の道路に並べ、地域の緑化を図っているほか、昭和58年以降は近隣の福祉施設に春・秋の2回訪問し、同施設の花壇整備を入所者とともに行っている。</p> <p>平成11年からは、毎年1年生が寄贈を受けるモミジの苗木を学区民の協力を得て植樹する活動を続けている。これらの活動を通して、生徒一人ひとりに思いやりや助け合う心、責任感、地域の自然を愛し守り続けていこうとする心が育っている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ざいだんほうじんふくおかけんすいげん もりききん 財団法人福岡県水源の森基金</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福岡県福岡市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 中島 孝之</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同基金は、昭和53年の大渇水を契機に翌54年に都市住民による森林整備の費用負担制度として全国に先駆けて設立された。以来25年間の実績は延21万ha、助成額は45億円余りとなっている。</p> <p>同事業により、降水の森林土壌内への浸透量は大幅に改善され、水源涵養機能のより高い森林へと移行し同県の水資源の確保に大きく貢献している。</p> <p>平成11年には県内2か所にモデル水源林が設置され、延1,100人による県民参加の森づくりが行われた。</p> <p>また、「水と緑のシンポジウム」開催（隔年、延2,800人参加）や、小・中学生対象の「水源の森ポスター原画コンクール」実施（応募総数延41,000点）等、「水と緑」の普及啓発も併せて行っている。</p> <p>森林の公益的機能への期待は高まるものの、林業関係者による森林整備が十分にできない現状では、本基金が果たす役割は多大であり、設立以来、一貫して森林整備を通じた水資源の安定的確保に努めてきた本基金の功績は計り知れない。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>さんきょうかがくかぶしがいいしゃ ひろのこうじょう 三協化学株式会社 広野工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県双葉郡広野町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長 野田 剛</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、平成2年操業開始の、写真用化学薬品及び医薬品原薬製造工場である。</p> <p>工場建設時から「美しい自然と調和した、インダストリアルパーク」を目指した。具体的には「花が咲き、鳥がさえずり、魚が泳ぐ公園」のように自然環境と調和を図りながら、社員自ら緑地の維持管理に努め、自然の地形を利用して野生味ある自然林を敷地面積の15%（15,700㎡）ほど残し、新たに美しく整備した緑地と調和を図りながら『緑あふれる工場』を創出している。</p> <p>植栽に当たっては、土壌の酸性が強いため植栽した樹木が枯れてしまうケースもあるので、十分な土壌改良や暗渠配管を行うなど苦労した。このような植栽や芝刈り・草刈には、社員の自主的な活動があった。</p> <p>また、地元小学校の社会科見学会に、積極的に協力したり、周辺地域の町道植栽を始め地元の環境整備に自発的に活動しており、地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>しらかしまなみ 白 櫃 南スクエアガーデンクラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>奈良県橿原市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表世話人 大久保 繁子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>「私たちの公園を美しく、うるおいのある町づくりをめざして」をテーマに、平成7年より白櫃7丁目（257戸）の街区公園である白櫃南児童公園をクラブ員により美しく維持管理している。限られた資金と労働力のなかで意欲的に創意工夫を重ねながら取り組んでいる。</p> <p>この結果、憩いの場としての自治会住民の公園利用は飛躍的に拡大し、最近では保育園児やデイケアの高齢者など地域外の住民にも利用が広がっている。</p> <p>また公園を拠点に、花苗の生産・配布をはじめ、牛糞堆肥づくりと住民への配布を行い、花づくりの輪を広げてきた。「公園の新聞」の発行、花摘み会、こども植え付け会、切り花配布会などの定期開催や、地元白櫃南小学校や幼稚園での花壇づくり、町あげでのイベント「白櫃町文化祭」への参加などにより住民意識の向上に多大な貢献を果たしている。</p> <p>交流活動の一環として、県内各地の緑化ボランティア団体による公園花壇の見学を積極的に受け入れ、他地域の団体の意識啓発・高揚に貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>なりた<sup>はな かい</sup>花の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>千葉県成田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 小川 善嗣</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、成田空港と成田山新勝寺を有し年間をと おして多くの人々が行き交う成田市で、昭和57年か ら現在に至るまでの約22年間にわたり、花のある街 づくりや快適な環境を目指して「花の輪運動」を展 開している。</p> <p>同会では、「咲かせよう街に心にきれいな花を」 をキャッチフレーズに、行政機関や協賛企業、一般 市民などの協力者とのコミュニケーションを運動の 軸として、J R成田駅前通や国道51号線市役所下等 の街頭花壇やハンギングバスケットに、また、公共 施設や駅コンコース等のプランターに、季節の草花 を植栽し、定期的な維持管理も行い、市民や同市を 訪れる人々の目を楽しませ、潤いと安らぎのある街 なみを演出している。</p> <p>また、昭和57年から草花1,000鉢を市民に格安で配 布する催しをほぼ毎月開催し、市民に花のある暮ら しを提供しているほか、平成4年からは、市内の全 小中学校を対象にパンジーやノースポールの苗等を 春と秋の年2回配布するなど、市民や児童等が参加 する花のある街づくりの推進や緑化思想の普及啓発 に大きく寄与している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かせいこうぎょうかぶしがいしゃ      ふくろいこうじょう          ポーラ化成工業株式会社      袋井工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>静岡県袋井市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長          鈴木 郷史</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、昭和52年操業開始の総合化粧品工場で、「ひとづくり」の精神のもと、化粧品も作るが人も作ることを目指し、機能性とぬくもりを大切にしている。工場を遠望すると、鶴をイメージした純白の工場が、緑豊かな遠州三山を背景にまばゆいばかりに映え、見事なコントラストが醸し出されている。</p> <p>新幹線沿いの敷地全面には、地元袋井市に協力した花文字『花と大学のまち ふくろい POLA』を植栽する等、周辺の緑化と調和した環境作りを心がけている。</p> <p>敷地周囲は樹木等で取り囲み、四季折々の花々、落葉高低木を植樹し、併せて「美ing作戦」と題した全従業員による樹木の管理を行う等、周辺景観の向上にも大きく寄与している。</p> <p>また、社内に環境委員会を設立し、従業員ボランティアにより袋井市が歩道を設置したプランター100鉢の維持・管理を実施している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>よねざわしみどり しょうねんだん 米沢市緑の少年団</p>
<p>所在地</p>	<p>山形県米沢市 米沢市立三沢西部小学校</p>
<p>代表者</p>	<p>米沢市緑の少年団運営協議会 会長 齋藤 友久</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、活動を通して緑の尊さと美しさを体験し、森林愛護の精神を養うため、米沢市及び地域の協力を得て平成4年度に結成された。</p> <p>結成以来、毎年全校生徒が参加し最上川源流のひとつ「桧原ブナの森」において自分たちの体をモノサシにした樹木調べや木登りなどブナ林に親しみながら学年に応じた森林体験学習を行っており、平成15年度からは高学年が人工林での枝打ち等の森林整備活動を行い、学習を深めている。</p> <p>また、「桧原ブナの森」を源流とする最上川水系の環境を学習するため、修学旅行を兼ねて地元から下流の酒田市まで最上川をたどり体験する学習を行っている。</p> <p>さらに、樹木に親しむため、団員一人一人が学校周辺の樹木を「ぼくの木、わたしの木」として決め自分たちで管理を行ってきたが、平成15年度には自分達で学校周辺の樹木調べを行い、調べた内容をオリジナルの樹木プレートにして取り付ける活動を行っている。このほか、キノコの植菌や学校周辺の花木植栽などの活動を行っている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>らんこしちょうはな <small>かい</small> 蘭越町花いっぱい<small>かい</small>の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>北海道磯谷郡蘭越町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会長 金子 一憲</p>
<p>功績の概要</p>	<p>蘭越町の花いっぱい運動は、昭和38年から始まり、花いっぱい運動の充実とともに公共花壇や学校花壇を中心に運動が展開されている。</p> <p>この花いっぱい運動の推進を担っているのは、花の好きな地域の方々が集い組織した同会である。昭和55年11月の発足以来、花の輪が広まり現在では133名の会員で形成されており、各地域での花の輪が広がっている。</p> <p>また、北海道知事により認定されたフラワーマスター16名が花壇コンクールの審査員、町内花壇めぐりのガイド、花壇づくり教室の開催など先駆的な働きを見せている。</p> <p>さらに、町内各家庭や職場への花苗提供やボランティアによる役場やパークゴルフ場などの公共花壇への植え込み等については引き続き活動をしており、地域の美化・緑化運動を継続している。</p> <p>このように色鮮やかにまちを花で飾り地域に感動を与えられる花壇づくりを展開し、これまでも道内外から多くの花いっぱい運動の関係者が視察・交流に訪れている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>しゅうないしりつしゅうようしょうがっこう 周南市立周陽小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山口県周南市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校長 寶迫 恒敬</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和46年に団地造成計画の中で建設されて以来、継続的に環境緑化活動に取り組み、数々の賞を受賞するなど、地域の緑化活動をリードしてきた。</p> <p>開校当時より地域との連携が図られ、PTAはもとより自治会や敬老会の協力のもと、堆肥づくりや樹木の管理指導などの支援を受け、児童・教職員一体となって緑化活動に取り組んでいる。学校で児童が育てた花の苗を各家庭に譲渡し、地域に学校と同じ花を四季折々に咲かせたり、児童の育てた花の鉢を学校行事の装飾に使用し、花作りに対する意識の高揚を図っている。</p> <p>特に、花壇づくりなどの緑化活動だけでなく、総合学習で地域の環境見直し学習を実施し、住んでいる地域を住み良くするための環境緑化活動を通して、都市住民の緑化を含む環境改善対策推進に貢献するとともに、子どもの情操教育に取り組んでいる。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>なごやしりつたかくらしょうがっこう 名古屋市立高蔵小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県名古屋市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校長 古田 憲彦</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、名古屋市の金山駅近くに位置する、児童約290人の中規模校である。</p> <p>同校では、感動する心や思いやりの心、公共のために尽くす心をもった児童を育てたいとの願いのもと、「花いっぱい運動」を通して、勤労の尊さや自然を愛する心を体得させる活動を実践している。</p> <p>この「花いっぱい運動」は、「学校花壇」を中心に昭和50年に始まり、その後、昭和55年からは学区内の地域花壇にまで拡大して行われ、現在では、「地域美化」、「一人一鉢」、「学校花壇」と呼ばれる活動を3本の柱として、13か所の公園や広場の20花壇に活動区域を広げ、チューリップやサルビア、マリーゴールドといった草花を植栽管理している。</p> <p>「地域美化」では、官公署や福祉施設等にプランターに植えたチューリップやミニヒマワリを配布したり、保護者や地域の方々の協力を得て、学区内の地域花壇にチューリップやサルビア、マリーゴールドを育てたりしている。この花壇では定期的に保護者や地域の代表者による花壇審査を開催して表彰活動を行うなど、地域に根ざした活動となっている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>はなやまそんりつはなやましょうがっこう 花山村立花山小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>宮城県栗原郡花山村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校長 菅原 大治</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校では、昭和33年からの9年間にわたり村民と学校が一体となって環境緑化活動を行い、観察林、庭園、観察池等を完成させた。それらの活動を通して、児童の愛林・愛郷・愛校精神の高揚を図ると同時に、村民の環境緑化意識を向上させ、村内家庭の緑化推進に貢献した。</p> <p>その後、緑化委員会（村、教育委員会、父母教師会、学校）の設置等により継続的に学校緑化環境の維持、向上に努めてきた。</p> <p>また、緑化教育研究、環境教育研究等に取り組み、教育的な効果を高めている。平成9・10年の環境教育研究指定で、村内の川や湖での調査・観察等の体験を行い、児童に豊かな緑の重要性を再認識させ、守り育てていこうとする実践力を身につけさせている。</p> <p>さらに、愛鳥モデル校の指定を契機に、野鳥観察・巣箱作りと設置・鳥の餌木の植樹等を児童に体験させている。</p> <p>このように学校と村が一体となった取組が伝統となり、「花山を愛し、花山を創る子供」の育成と村の発展に多大な功績を挙げている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>だぎいふし 太宰府市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福岡県太宰府市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市長 佐藤 善郎</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、昭和58年に制定された「太宰府市生け垣推進等に関する条例」により、市内の緑化推進を図っている。</p> <p>市の将来像である「歴史とみどり豊かな文化のまち」を目指し、平成6年には良好な自然環境を形成し、市民の健康で文化的かつ快適な生活に寄与することを目的に「太宰府市緑地の保全に関する条例」を、さらに平成14年には緑地保全・創出及び緑化推進を目的に「太宰府市緑の基本計画及び景観形成基本計画」をそれぞれ策定している。</p> <p>昭和58年からの取組である「生け垣推進協力補助金制度」をはじめ、「緑の基本計画」や「景観形成基本計画」に基づき、緑地の保全・創出を図るため、緑地保護地区内の土地等の買取りや花いっぱい運動を行っている。また、出産や入学、就職、結婚等人生の節目となる記念日に、市内の公園において市民の手による植樹など、様々な事業を継続的に実施している。</p> <p>このように自然と調和、景観や緑に配慮した快適な生活空間を確保できるまちづくりに努めている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>たじままち 田島町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県南会津郡田島町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>田島町長 室井 英彦</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、昭和56年に積極的な水源林造成等に努めたことにより水資源功績者表彰を受賞したが、その後、水源ダム上流部の官行造林を町が買い取り、立木を保存して水源機能の保全を図っている。また、町有林の一部を南会津地方国民参加の森林づくり推進協議会を通し、森林ボランティアによる森林整備のフィールドとして積極的に提供し、森林づくりに対する意識高揚に努めている。</p> <p>さらに、都市と農村の交流を目的に平成10年に『交流の森』約0.2haを造成し、交流都市である東京都狛江市の市民とともにトチノキ等を植栽した後も樹木の成長に合わせた施業を行い、交流を通じて森林保護意識の高揚や緑化思想の普及啓発を推進している。</p> <p>このほか、国指定天然記念物に指定されている駒止湿原の周辺の遊休開拓地を平成11、12年に公有化し、隣接する昭和村と共同で『駒止の森ブナ復元事業』による湿原保全に取り組み、平成15年はボランティアの協力により1,500本のブナの苗木を植栽するなど、緑化による天然記念物の保全や水源地の保護という面から評価されている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>まつやままち 松山町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>宮城県志田郡松山町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町長 狩野 猛夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、昭和59年から始まった花を活用したイベント「コスモス祭り」に多くの来場者数を集め、「コスモスのまち・松山」の名が定着している。</p> <p>各種団体の参加による花いっぱい運動が展開され、県道沿いの植栽柵や水路敷き、延長1,700mにコスモスを植栽し、「コスモスロード」として整備している。また、コスモスの種の無料配布、商店街におけるプランターによる花いっぱい運動などを実施している。</p> <p>町の第4次総合計画の構想「自然とふれあい緑を育てる地域づくりの創造」のもと、緑化推進検討委員会を設立し、平成14年12月に「緑化推進創造計画に関する報告書」を作成した。町では平成15年に「松山町緑化推進条例」を制定し、緑化推進の実現のため町及び町民等の責務を定め、町民参加を基本とした緑化創造計画の策定や、施設の緑化、緑化運動強調月間の設定等により、地域住民自らが積極的に取り組む機会の創出、基盤づくりを展開している。</p>